



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 井上 富雄  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## 歯科病院長に就任して

歯科病院長 榎 宏太郎

少し前になりますが、今年の3月末に、岡野前歯科病院長の代理として、新5年生の白衣授与式に出席させて頂きました。私が学生の頃にはなかった催事であるため、学生諸氏に何を話すべきかを迷いましたが、昭和大学歯学部の名に恥じないよう口腔疾患と戦い抜く覚悟を持って病院に登院してくれ、というような意味のことを話しました。本来であれば、もっと優しい言葉で、もっと科学性を持った助言をすべきだったのかもしれませんが、その数日後に予定されていた病院長への就任という重圧があのような厳しい言葉となったのかも知れません。



実は、その前に、白衣授与式の元となった、看護学校で古くからある戴帽式というものがどのような目的で行われるようになったかを調べました。その際に、ナイチンゲールの伝記もあらためて読み返しましたが四十年以上も前に小学生向けのものとして読んだ時とはまるで違うその実像に驚かされ、とても新鮮な印象を受けました。

彼女がクリミア戦争の時に大変な苦勞をされたことはご存知の方も多いと思われそうですが、「白衣の天使」と呼ばれることには、内心で嫌悪感を持っていたことをご存知の方は少ないのではないのでしょうか。彼女は自己犠牲による医療活動には反対しており、そのためか、赤十字社の活動にもあまり積極的に関わってはいなかったようです。それは、医療自体が、経済的支援無くしては成立も維持もできず、救護活動に至っては天使という言葉とは大きくかけ離れた泥に塗れた戦いである、という思いを抱いていたためなのでしょう。

他にも、彼女が統計学を積極的に病院運営に導入した初めての人物であったことにも驚かされますし、進歩の無い組織で持ちこたえたものはない、と治療術式の改善や臨床研究の重要性を看破していたことにも感嘆させられます。(ご興味のある方は、是非ご一読されることをお勧めします。)

以降、昭和大学歯科病院のあるべき姿とは、そし

て、卒後にプロとして生きて行かなければならない学生に臨床で何を教えるべきか、など様々な疑問を自分自身に問いかける時、彼女の逸話をよく思い出してしまいます。

皆様は、どのような問いかけを胸に毎日をお過ごしでしょうか。それを自由に話せる機会が歯科病院内で益々増えるよう願っております。歯科病院ワークショップなども一層活性化させたいと思います。是非、未来への挑戦と明るい展望を見出せるような病院運営に向けて、自由闊達な意見交換とご協力をお願い申し上げます。

## 夏季スポーツ大会壮行会が開催されました

学生部長 上條 竜太郎

第18回夏季スポーツ大会壮行会が7月12日に開催されました。

5時から1号館7階講堂で、人事部人権啓発推進課の山口淳課長が「アルコール・ハラスメントとは？」と題してご講演され、引き続き5時30分から1号館5階会議室で、壮行会が開催されました。医学部の宮崎学生部長が開式を宣し、片桐学長が訓辞を述べ、挨拶は小口理事長、4学部を代表して久光医学部長、稲垣父兄会長がそれぞれ行いました。医学部同窓会学内支部長である門倉教授(外科学 胸部心臓血管外科学部門)から、体連4クラブ、文連2クラブに支部奨励助成金が授与されました。アイスホッケー部代表長石将大君(M4)の選手宣誓に続いて、グリークラブによる校歌斉唱をもって終了致しました。

懇親会では、グリークラブによる応援歌、応援指導部による迫力あるエールが会場内に響き渡り、宮崎学生部長の乾杯により会が始まりました。大会での健闘を誓う各クラブの学生の活気で会場内が満ちあふれる中、板部薬学部学生部長が閉会を宣し、閉会となりました。



## 昭和大学富士吉田校舎オープンキャンパスが実施されました

入学支援課 太田 麻美

平成25年6月23日(日)本学富士吉田キャンパスにおいて受験生を対象に富士吉田オープンキャンパスが開催されました。



前日は、あいにくの雨天となり翌日の天候が不安の種でしたが、晴天に恵まれたことと、当日は富士吉田キャンパスでの寮祭とも重なり、大変にぎやかなオープンキャンパスとなりました。今年は、4学部併せて245組513名(うち歯学部希望者:17組42名)の参加者があり、昨年を70名上回りました。

オープンキャンパスでは、実際の寮を見学できるプログラムや、教職員による1年次のカリキュラムの説明、在校生とのフリートーク、食堂での昼食体験など本学の特色である1年次全寮制の良さを実感することができたと参加者から大変好評のうちに終了致しました。今後は引き続き、8月4日(日)、8月25日(日)と歯学部のオープンキャンパスを開催する予定となっております。

## 4学部合同入試説明会が実施されました

口腔病理学部門 美島 健二

7月22日(火)に4学部合同入試オープンキャンパスが旗の台キャンパスで開催されました。参加人数は、4学部



全体で272組、416名で、歯学部単独では24組、37名で昨年度よりも6組ほど多くの方が参加されました。内容は、4学部共通の「昭和大学の特徴・チーム医療」、「寮生活について」に関する講演と各学部それぞれの学部紹介が行われました。さらに、それぞれの教員による「個別相談」や「在学生による寮生活紹介」と「学生とのフリートーク」は大変活気をおび多くの方が参加されておりました。歯学部での講演内容は、「最新の歯科医療の紹介」「これから求められる歯科医師」「本学の特徴であるチーム医療」「本学のコンピテンシー」および「入試説明」を中心に行われ、参加されている方は、ご家族と同伴されている学生もいれば学生同士や一人で参加している方もおりました。前席で熱心に聞いている男子学生にインタビュー

してみると、「昭和大学の特徴であるチーム医療に大変興味があります」という意見が聞け、本学の特徴がきちんと浸透していることがわかりました。また、同窓生のご息もおられ「小学生の時から昭和大学歯学部にはいることが夢でした」という言葉には大変感動を覚えるとともに、このようなモチベーションの高い学生に一人でも多く入学頂きたいと感じました。

## クリッカーナノの運用が開始されました

教育委員長 井上美津子

歯科病院 6階の第一臨床講堂の出欠管理用アナライザーが故障し、修理不能となりましたため、新しい出欠管理システムとして「クリッカーナノ」の導入が検討され、



本年6月より使用開始となりました。薬学部ではすでに使用しており、学生に配布したリモコン端末により出席がとれるというもので、現在第一臨床講堂を総括講義で使用している6年生に端末を配布しております。出欠ばかりでなく、リアルタイムに学生の反応を収集・分析できるので、テストやアンケートなどにも応用でき、その場でグラフ等に変えることもできます。活用していただければ幸いです。

## 平成25年度 昭和大 研究奨励助成対象者が決定しました

研究活動委員会 上條 竜太郎

本学では、学術研究の将来を担う活力ある若手研究者を育成し、以て本学の発展に寄与することを目的とし、「昭和大学学術研究奨励制度」を設けて(1)学術研究諸活動に関する助成(2)海外留学及び海外研修諸活動に関する補助を行っております。

この度、本年度の助成対象者(学術研究諸活動:13名・海外留学及び海外研修諸活動:6名)が決定致しました。歯学部の助成対象者は下表の通りです。

(単位は万円)

区分	所属	職名	氏名	給付額
学術研究諸活動	口腔微生物学	助教	谷口 誠	50
	顎口腔疾患制御外科学	助教	八十 篤聡	50
	高齢者歯科学	助教	内田 圭一郎	50
	障害者歯科学	助教(員外)	山下 一恵	20
海外留学諸活動	歯科補綴学	助教	館 慶太	80
	高齢者歯科学	助教(員外)	竹内 沙和子	80
	インプラント歯科学	助教	佐藤 太輔	80

## D1 英語 placement test が実施されました

口腔衛生学部門 弘中 祥司

本学1年生は入学後すぐに、TOEIC IP に基づき、英語科目に関して学部別、習熟度別のクラス分けを行っております。TOEIC(トイック)IP とは Test of English for International Communication, Institutional Program の略称で、英語によるコミュニケーション能力を幅広く評価する世界共通のテストです。TOEIC テストのスコアはリスニング(L)5~495点、リーディング(R)5~495点、トータル10~990点の5点刻みで評価されます。

2011年度 TOEIC IP テストの公開データでは医・薬学系大学1年生の平均点は465 (L = 251, R = 214)点で、本年度の本学1年生の平均は、医学部518点、歯学部370点、薬学部370点でした。全国平均が465点という点から、歯学部学生の英語力の上昇が望めます。また、12月にもう一度、再評価が実施される予定です。寮祭も終わって、生活も落ち着いたこれから、富士吉田での寮生活で1年生たちの総合学力が格段にレベルアップすることを期待したいと思います。

## 国際歯顎顔面放射線学会で発表しました

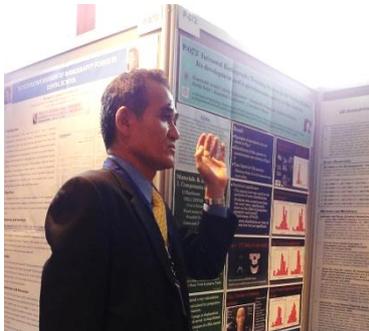
歯科放射線医学部門 荒木 和之

6月23日から27日までノルウェーのベルゲンで開催された第19回国際歯顎顔面放射線学会(ICDMFR)に参加してまいりました。

国際歯顎顔面放射線学会は顎口腔領域の放射線医学の研究を行っている研究者たちの学術研究の発表と交流に寄与すること目的とした学術集会です。2年に1回のペースで開催されています。前は広島での開催でアジアの参加者が多かった記憶があります。今回は北欧でもあり、アメリカやヨーロッパ各国、日本や韓国をはじめとし世界各国から歯科放射線を専門にする研究者が大勢参加していました。

昭和大学からは佐野教授と私が参加しました。私はポスター発表で仮想空間を用いた口内法撮影トレーニングシステムについて発表しました。座長がついて発表と質疑応答で4分ほど時間をいただきました。同じようなシステムを考えている研究者からより扱いやすいシステムにする方向についての質問と示唆をいただきました。

ベルゲンは緯度が高く、白夜に近い時期でした。日



没が12時ぐらいで、皆さん夜遅くまで騒いでいました。学会の懇親会も終了時刻が午前1時と日本では考えられないスケジュールでちょっと戸惑いましたが、とても記憶に残る学会となりました。

## 平成25年度秋季・平成26年度春季 大学院募集要項について

大学院運営委員長 佐藤 裕二

7月2日の夕刻、説明会が開催されました。集まったのは研修医17名、6年生21名、5年生5名と外部所属の16名の合計59名でした。ワクワクした大学院生活を過ごし、研究マインドを持った良き歯科医師になるのを願っていることこと、また専門医取得の準備が行えることなどを熱く伝えました。勉強や仕事が終わった後の遅い時間でしたが、みんな真剣に聞き入っていました。全体説明の後、22講座・分野の紹介がありました。

まずは秋季入学の試験が9月7日に行われます。説明会は今後、9月3日の17:30、11月26日の19:00に歯科病院臨床講堂で開催予定です。入試の詳細については、昭和大学ホームページ>学部・大学院>大学院歯学研究科>入試情報をご覧ください。

なお、本学歯科病院の研修医は、今年の秋入学(社会人特別選抜)も可能です。

日程	秋入学	春入学 I	春入学 II
願書締切	8/9	11/25	2/7
試験	9/7	12/7	2/15
合格発表	9/19	12/19	2/26
入学式	10/1	4月	4月

## 受賞

広報委員長 井上富雄

北川 昇 高齢者歯科学講座

第32回日本歯科医学教育学会

国際学会研究奨励賞

馬谷原 光織

スペシャルニーズ口腔医学講座教育推進室

第32回日本歯科医学教育学会 教育文化賞



## 病棟実習シミュレーション・学部連携 PBLを体験しました D4 尾崎 礼奈

脳梗塞を患っている患者さんのカルテを読み、医・歯・薬4年生、保健医療3年生の8人のチームで治療計画を立案しました。苦労



したのは、自分の専門領域だけでなく、患者さんの全身状態を把握しなければならないことでした。口腔内清掃を提案すると保健医療学部生から、左半側麻痺で難しいなどの指摘を受け、医学部生が薬の処方提案すると歯学部の私たちが誤嚥の危険性を指摘し、薬の形状を薬学部生が再検討するなど、皆で協力して治療計画を考えました。普段とは異なる良い刺激を受けることができました。カルテを読むのも初めてで苦労しましたが、保健医療学部生から教わることができたのはよい経験となりました。

印象に残ったのは、どの学部の学生も自分の専門領域のことを患者さんのために懸命に考え、他学部の学生に分かりやすく説明している姿です。どうしても専門用語を使用してしまいがちですが、これは患者さんに病気の状態や治療法を分かりやすく説明するためにも重要なことだと感じました。今回の発表会は患者さんに対する説明という形式だったので、この重要性をさらに身にしみて感じることができました。学生のうちからこのようなPBLを行うことにより、将来臨床に立った際に、患者さんを中心としたチーム医療をより実現しやすくなると思いました。1年生の頃から何度もPBLを行ってきましたが、毎回自分だけでは思いつかなかったような新しい考え方を知ることができるのでこれからもPBLを続けていくことで、色々な視点から患者さんに対応する力をつけていきたいと思えます。

## マダガスカル共和国で医療協力活動 に参加しました D6 橋本 アメー

昨年より実施されている笹川記念保健協会財団との共同実施によるマダガスカル口唇口蓋裂医療協力が6月18日から7月2日まで参加させていただきました。今回の医療協力活動では、医師4名・看護師3名・学生4名(各学部1名ずつ)が参加し、口唇裂・口蓋裂を主として計21件の手術が行われました。手術では



見学だけでなく、器械出しや麻酔の経験もさせていただき、他にも帝王切開の見学や患者さんのお宅訪問など、毎日が貴重な体験の連続でした。

患者さんたちは貧困によって栄養状態が悪いのに加えて哺乳・摂食障害が原因でより一層栄養がとれない状況にあります。また、現地の歯科医院を訪問した際に、富裕層を除いて歯磨きをする習慣はないという話を聞き、当初予想していたよりも多くの点で歯科の重要性がみえてきました。口蓋閉鎖床の製作や顎裂部骨移植、矯正、齲蝕予防、口腔衛生指導など、歯科がアプローチすべきことはたくさんあります。次回は是非歯科医師も一緒に派遣することができたらよいなと思います。

街中では衛生面を考えたら目を覆いたくなるような光景や物乞いをする子どもたちにたくさん遭遇しました。貧困・衛生・教育、これらはすべて医療につながっていると思います。これは現地に行ったからこそ見えてきたことで、日本にいたのでは気づくことができなかったと思います。

今回このような貴重な経験をさせていただけたことに心より感謝申し上げます。



## 昇任・採用

広報委員長 井上富雄

丸岡 靖史

(歯科病院連携歯科 診療科長 就任)

## 行事予定

広報委員長 井上富雄

- 8月 4日(日): 歯学部オープンキャンパス
- 8月 7日(火): 昭和大学教育者のためのワーク  
~8日(水) ショップ(アドバンスコース)
- 8月22日(木): 富士吉田 PBL ワークショップ  
~23日(金)
- 8月25日(日): 歯学部オープンキャンパス
- 9月 1日(日): 富士吉田オープンキャンパス
- 9月 7日(土): 大学院秋季入試,  
歯科病院臨床研修歯科医採用試験
- 9月14日(土): 歯学部入試説明会

## 編集後記 小児成育歯科学講座 加藤 里英

暑い日が続いております。熱中症に注意しましょう。末筆ではございますが、お忙しい中、原稿を執筆して頂いた皆様に心より感謝申し上げます。